

家庭菜園相談室

今月の
テーマ

子どもから大人まで大人気なスイートコーン

トウモロコシの中でも、特に甘いのがスイートコーンですが、収穫してから時間が経つにつれて糖分がでんぷん質に変化し、急激に甘みが薄れていきます。スイートコーンは、採れたてを食べられる家庭菜園でしか味わえない魅力です。



作型目安

	品 種	4月	5月	6月	7月	8月	9月
スイートコーン	ゴールドラッシュ (サカタ) おひさまコーン (タキイ)	●	●	▲	★	■	

● 種まき ▲ 中耕・除草・土寄せ ★ 除房 ■ 収穫

栽培の
ポイント

- ・品種は、1つだけ選んで栽培しましょう。
トウモロコシは、違う品種の花粉が付くと違う親の形質が実に現れます。キセニア現象といえます。黄色い粒の品種のそばに白い粒の品種を作ると黄色と白の粒が混じったものができてしまいます。
- ・トウモロコシは風によって受粉するため、1列では実の入りが悪くなるので必ず複数列作付けするようにしましょう。
- ・黒糸でカラスの食害を防ぎましょう。
カラスは賢いため、上からだけではなく横からも進入します。トウモロコシが膨らみ始めたら、カラスが嫌がる黒い木綿糸を張りましょう。

畑の準備

種まきの1カ月前に苦土石灰150 $\frac{g}{m^2}$ を施して、深さ30 $\frac{cm}{m^2}$ 位までよく耕します。
種まきの1週間前には堆肥2 $\frac{kg}{m^2}$ と化成肥料(N:P:K=8-8-8)200 $\frac{g}{m^2}$ を施しよく耕します。

栽植密度

畝幅100 $\frac{cm}{m^2}$ 、高さ20 $\frac{cm}{m^2}$ 、株間30~35 $\frac{cm}{m^2}$ 、条間50~60 $\frac{cm}{m^2}$ (2条植え)の畝を立て、黒マルチを敷きます。

種まき

移植栽培の場合では、2号ポット(直径6 $\frac{cm}{m^2}$)に深さ2 $\frac{cm}{m^2}$ の穴を開け、種を2粒まきます。
本葉1~2枚の時、苗が1本になるようハサミで切り取り、本葉2~3枚で畝に植え付けます。
トウモロコシは、直根性で植え付けが遅れると植え傷みがひどくなるので、適期に植え付けましょう。
※直播栽培の場合は、深さ2 $\frac{cm}{m^2}$ の穴に種を2~3粒まき、土をかけ軽く手で押さえ水をかけます。
種まき後は、鳥害と乾燥を防ぐため、発芽が揃うまで不織布をかけておくとよいでしょう。

間引き

本葉が3~4枚で1本になるように間引きます。間引くときは、引き抜かないで、地際の茎をハサミなどで切り取ります。

追肥

本葉5枚ごろと、雄穂が出るころの2回、NK肥料(N:P:K=14-0-14)を各回30 $\frac{g}{m^2}$ 程度施し、中耕、土寄せをします(マルチを敷いている時は、その上から肥料をまいても良いです)。土寄せは、倒伏防止の効果があります。

除房

雌穂は、一本の茎に2~3個付きますが、絹糸が出始めた頃に、最も大きくなる最上部の雌穂1本を残し、他のものは茎や葉を傷めないように注意して取り除きます(かき取った未熟な実は、ヤングコーンとして利用できますが、この時期までに農薬を使用する場合は、ヤングコーンまたは野菜類で作物登録のある農薬を使用してください。スイートコーン自体は、未成熟トウモロコシ登録になります)。

病虫害

トウモロコシの代表的な害虫はアワノメイガです。幼虫は、雄穂を食害したあと、雌穂に移動して実を食い荒らします。防除するには、雄穂が出始めた時と雌穂が出始めた時にアワノメイガに登録のある殺虫剤を散布します。農薬を使いたくないときは、雌穂が出揃って受粉が終わったところに、雄穂を切り取ってしまう方法もありますが、完全に防除はできません。

収穫

収穫は、雌穂(絹糸)が茶色くなってきたら収穫適期(一般的にひげが出てから20~22日)です。収穫が遅れると粒の先が萎びて糖度も落ちてくるので、適期を逃さないようにしましょう。早朝、気温の低いころに収穫し、皮をむいて、生で思いっきりかじってみてください。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。